

令和4年度学校評価アンケート（保護者）結果に対する 各部によるコメント（反省・改善意見）

学力の向上に関する質問

- 1 小山西高校は充実した授業を行っていると思いますか。

・「はい」「どちらかといえば、はい」の解答を合わせた「肯定的評価」の％は以下のものであった。

	2020年	2021年	2022年
生徒	87.1	89.9	87.1
保護者	81.3	82.0	79.6

また、「否定的評価」は以下のものであった。

	2020年	2021年	2022年
生徒	9.0	7.6	8.5
保護者	5.3	5.3	6.0

※設問1から3はみな同様の傾向であり、詳細なデータは省くが肯定的評価は80％台、否定的評価は一桁から10％台前半。そしてこの三年間の変動ははすべて5％以内にとどまっている。生徒保護者から多くの信頼を得ていると言っていい。一方で数％から10％の「不満層」にどう答えていったらよいか。「授業のさらなる改善」を今後の課題としたい。（学習指導部）

- 2 小山西高校で実施している少人数授業・習熟度別授業は生徒の学力向上に役立っていると思いますか。
・上述のとおり。（学習指導部）
- 3 小山西高校で実施している各小テストや各教科から出される課題は、学力向上に役立っていると思いますか。
・上述のとおり。（学習指導部）
- 4 Classiによる学習動画やWebテスト等の配信、学習時間の記録は、学力向上に役立っていると思いますか。

・「肯定的評価」は以下のものである。

	2020年	2021年	2022年
生徒	56.3	64.9	56.9
保護者	61.7	64.7	61.0

また、「否定的評価」は以下のものである。

	2020年	2021年	2022年
生徒	28.0	20.8	25.4
保護者	18.6	16.3	17.2

ここ3年間で肯定的評価は60％を上下し、否定的評価は10％後半から30％近い。設問1～3に比較すると明らかに結果が悪い。小西は、授業やクラス分けや学習課題、「生身の教育」の顧客満足度は高いが、ICTツールの評価が低い（特に生徒の）ということがわかった。これは教材教具と同様、コンテンツの質もさることながら、利便性・操作性・快適性の問題もあるので、これは「頑張って工夫する」などというような精神論ではなく、消費財としての視点からの検討（アプリやガジェットの変更など）が必要であろう。（学習指導部）

自律心・規範意識の育成に関する質問

- 5 小山西高校では生徒の規範意識を高めるための指導を適切に行っていると思いますか。
・肯定的な回答が79.9％（昨年80.8％）と多くの保護者からご理解を頂いている。生徒は78.6％（昨年84.1％）とやや減少したが、昨年がとても高かったので、肯定的な回答が一昨年位の数値

に戻った印象である。しかし、数字の上で減少していることを真摯にとらえ、もう一度力を入れて取り組む必要がある。これから長い人生を歩んでいく生徒のために、今後も全教職員の協力の下、しっかりとした規範意識をもたせ、高められるような指導を行っていききたい。(生徒指導部)

6 希望する生徒や保護者に対して行っているスクールカウンセラーの面談は、生徒への精神的な支援に有効だと思いますか。

- ・「はい」「どちらかといえば、はい」を合わせると教員100%、保護者76%、生徒67%であった。「スクールカウンセラー」との面談は希望等に対応しているため「わかりません」と回答した保護者18%、生徒は27%であった。今年度は生徒だけでなく保護者の面談件数も増えており、生徒の抱える状況を好転させるためにカウンセリングの必要性が高まっていると感じる。また、面談の枠にも限りがあるので、生徒へのサポートを充実させるため次年度の「スクールカウンセラー」による面談の時間を増やせるよう検討していききたいと考える。(健康指導部)

体験活動の推進に関する質問

7 小山西高校は部活動の活性化に努めていると思いますか。

- ・肯定的回答が86%(昨年86%)ととても多くの保護者のご理解を頂いている。生徒の回答も84%(昨年86%)が肯定的回答であった。コロナ禍で思うような活動ができない場面もあると思うが、今後も各部でさまざまな工夫を凝らしながら、保護者の皆様のご協力を頂きながら、本校が育成したい資質・能力の獲得に資する活動を今後も継続していききたい。(生徒指導部)

8 小山西高校は学業と部活動の両立がなされるような指導を行っているといますか。

- ・肯定的回答が75%(昨年78%)と多くの保護者のご理解を頂いている。しかし、生徒の肯定的回答は65%(昨年70%)、否定的回答は23%(昨年20%)と否定的な回答の多さが目につく結果であり、検証が必要だと感じた。学習時間調査等を鑑みると、なかなか“両立”ができていない生徒が増えてきていると感じられる。きちんとした生活習慣の確立の上で、文武両道を実践できるように促していききたい。(生徒指導部)

9 小山西高校で実施している学校行事は生徒の学校生活を充実させていると思いますか。

- ・肯定的な回答が、生徒92.0%(前年度比+5.4%)、保護者89.7%(前年度比+6.5%)と前年と比べても高い評価を得ることができた。感染状況に応じて、対面形式やリモート形式など実施の方法を工夫しながら、ほぼ全ての学校行事を実施することができた。3年ぶりの学校祭、3泊4日の修学旅行や芸術鑑賞会等を通して、生徒の生き生きとした表情を見ることができ、各行事の事後アンケートにおいても高い満足度が見受けられた。引き続き教育活動を止めることなく、安心安全な行事の運営を目指していききたい。(教務部)
- ・肯定的回答が90%(昨年83%)と、多くの保護者からご理解を頂いている。生徒に関しては92%(昨年87%)が肯定的な回答であった。また、生徒に任意で行った学校祭のアンケートでは96.3%が肯定的な回答であった。引き続きのコロナ禍で、計画の変更等をともないながらも、ほとんどの行事を実施できたことから、肯定的な回答が増えたものと思われる。これからはさらにウィズコロナが求められてくると考えられるので、しっかり安全の確保をしながら、次年度以降も、生徒の主体性や行動力に寄り添えるような学校行事の運営に努めていききたい。(生徒指導部)

10 小山西高校で実施している地域との交流活動やボランティア活動は充実していると思いますか。

小山西高校で実施している地域との交流活動やボランティア活動は充実していると思いますか。

- ・肯定意見：72.0%(昨年度65.7%)、否定意見：5.5%(昨年度6.2%)、わからない：22.5%(昨年度28.2%)。

昨年同様“わからない”の回答を少なくすることを目標に、活動の外部への発信を進めてきたが、「肯定」「否定」「わからない」、ともに改善された。今後どのような活動が行えるのか、その内容をどのように発信し、関係者の皆様にどのようにアピールしていけるのかを継続して検討していききたい。

(学習指導部)

進路指導の充実に関する質問

- 11 小山西高校の教員は面談を通じて生徒理解や保護者との相互理解に努めていると思いますか。
- ・昨年（89%）と同値の89%の保護者が肯定的評価である。但し「どちらかといえば、はい」という意見が42%と依然多く、積極的な肯定的評価と言いがたい面もあり、面談を充実させるための「鮮度ある進路情報の提供」と、保護者とのきめ細かな生徒への支援方針のすりあわせを実現するための教員側の工夫と努力が必要である。（進路指導部）
- 12 小山西高校は進路選択に関わる情報を提供していると思いますか。
- ・昨年（81%）から2%微増の83%の保護者が肯定的な意見である。新導入されたタブレット等のハードウェアやClassi等のソフトウェアに習熟し、活用について工夫・研究を重ね、学年部会・保護者面談などの枠を超えた柔軟な発想に基づいた新たな形態での情報共有も模索していきたい。（進路指導部）
- 13 小山西高校の進路指導は生徒個々の進路実現のために効果的に実施されていると思いますか。
- ・昨年（76%）と同値の76%の保護者が肯定的な意見である。但し「どちらかといえば、はい」という意見が48%と多いことを踏まえ、ICTの活用による業務の効率化と並行して、外部連携に基づく確かな進路情報の収集と提供により、生徒を中心に据えた教員・保護者との三者による情報共有と同意を原則としたきめ細かな進路指導を推進していきたい。（進路指導部）
- 14 小山西高校のキャリアアクション・プロジェクトは生徒自身が自分の進路について考える機会を増やしていると思いますか。
- ・「はい」「どちらかといえば、はい」合わせて、生徒85.0%、保護者82.0%であった。生徒の学年別に見ると、1学年80%、2学年89%、3学年85%といずれも高い数値である。前年比でもおおむね向上している。高大連携も今年は大いに進展しており、現在の方向で進めていくべきと思われる。（学習指導部）

その他の質問

- 15 小山西高校の情報はPTA総会・学年PTA・各種の広報や配布物・ホームページ等をとおしてご家庭に届いていますか。
- ・88.9%の保護者が肯定的な回答をしている（前年度比+1.8%、生徒83.3%）。紙媒体に限らず、HPや一斉配信メール、Classiなど状況に応じて様々な媒体を通じた情報発信が定着しつつある。3年ぶりに実施した授業公開も多くの方にご参加いただくことができた。教育活動の多くがコロナ以前に戻りつつある現在、保護者の皆様のさらなるご理解ご協力を得られるよう迅速で的確な情報の発信に努めていきたい。（教務部）
- 16 小山西高校の教職員は一人一人の生徒を大切に、いじめを許さない毅然とした態度で生徒に接していると思いますか。
- ・肯定的な回答が81.3%（昨年78.1%、一昨年76.3%）ととても多くの保護者から、ご理解を頂いている。生徒は80.6%（昨年86.3%、一昨年83.8%）が肯定的な回答であった。生徒の受け取りとしては、低下している。肯定的な意見をもっと増やしていけるよう、今後もいじめに対しては毅然とした態度で接することを全教職員の共通認識として徹底し、いじめのない学校づくりを目指していきたい。（生徒指導部）
- 17 小山西高校にお子様を入学させてよかったと思いますか。
- ・肯定的な回答が、生徒80.4%（前年度比-10.4%）、保護者92.1%（前年度比+1.2%）と保護者の回答に変動はないが、生徒は数値を大きく下げた。生徒の回答では、「わからない」が4%（R3）⇒8%（R4）に増加しており、特に1・2年生に関しては、「わからない」がそれぞれ10%、11%となっている。2・3年生へと進級し、進路実現を目指しながら充実した学校生活を送っていくことで、肯定的な回答へと変わるよう、教育活動の充実を図っていきたい。（教務部）

18・19・20 今後、小山西高校で特に重点的に取り組んでもらいたい教育活動は何ですか。3つ選んでください。最も期待するものを回答番号18に、次に期待するものを19に、3番目に期待するものを20にそれぞれマークしてください。

- [1] 部活動の活性化 [2] 学力の向上 [3] 進路指導の充実 [4] 徳性の涵養
[5] 規範意識の育成 [6] 自主性の確立 [7] 体験活動の推奨 [8] 情報教育の充実
[9] 国際化社会への対応 [0] その他（マークシート裏面に具体的に書いてください）

- ・保護者の回答において、上位3項目は例年と変わらない。一昨年度からの推移は、①学力の向上64→67→71% ②進路指導の充実45→47→62% ③自主性の確立22→22→45%となっている。今年度は特に他の項目と比べ、この3点の数値が大きく、保護者の皆様が本校に期待するものが顕著に表れた。生徒が期待するものも、学力の向上が1位（79%）であり、昨年度の69%よりさらに数値を挙げている。2位には部活動の活性化（44%）と進路指導の充実（44%）が並んだ。個に応じた学習指導により基礎学力の定着を目指すとともに、授業や部活動、学校行事等様々な場面において自主性を育みたい。生徒の日々の学びが進路実現につながるよう今後も支援していきたい。（教務部）